



大賞・全日本写真連盟賞 「秋のスカイアーチ」 増田洋二(東広島市)
撮影日 平成23年11月 撮影場所 大和町

先月8日、観光写真コンテストの公開審査が行われ、入賞者が決定しました。
今年コンテストには、全国から288人、計1,118点の応募がありました。
三原の四季のテーマのもと、荘厳な空港大橋や朝日に輝く島々、伝統行事、史跡など三原の魅力を収めた力作の中から、大賞など64点が選ばれました。
入賞者は次のとおりです。(敬称略)

観光写真コンテスト入賞者が決定

入場料 無料

入賞作品の展示

とき 10日(土)~20日(火)
10時~18時

ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)



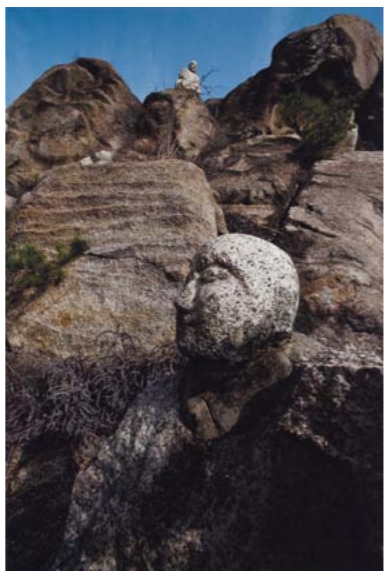
銀賞 「久井御当座神司」
河南紀久子(須波西二丁目)



銀賞 「秋桜の咲く丘より」
法代地昭年(皆美一丁目)



金賞 「瀬戸雪景」 東田博明(小坂町)



銀賞 「磨崖仏」 神原正臣(沼田東町)

銅賞 空谷邦正(福山市)、谷岡隆(呉市)、上吉郁夫(東広島市)、中山一(久井町)、村上泉(安芸郡熊野町)
入選 松浦功(中之町六丁目)、林和雄(西野三丁目)、吉弘俊人(沼田東町)、山口隆之(西宮二丁目)、親本俊弥(新倉一丁目)ほか15人

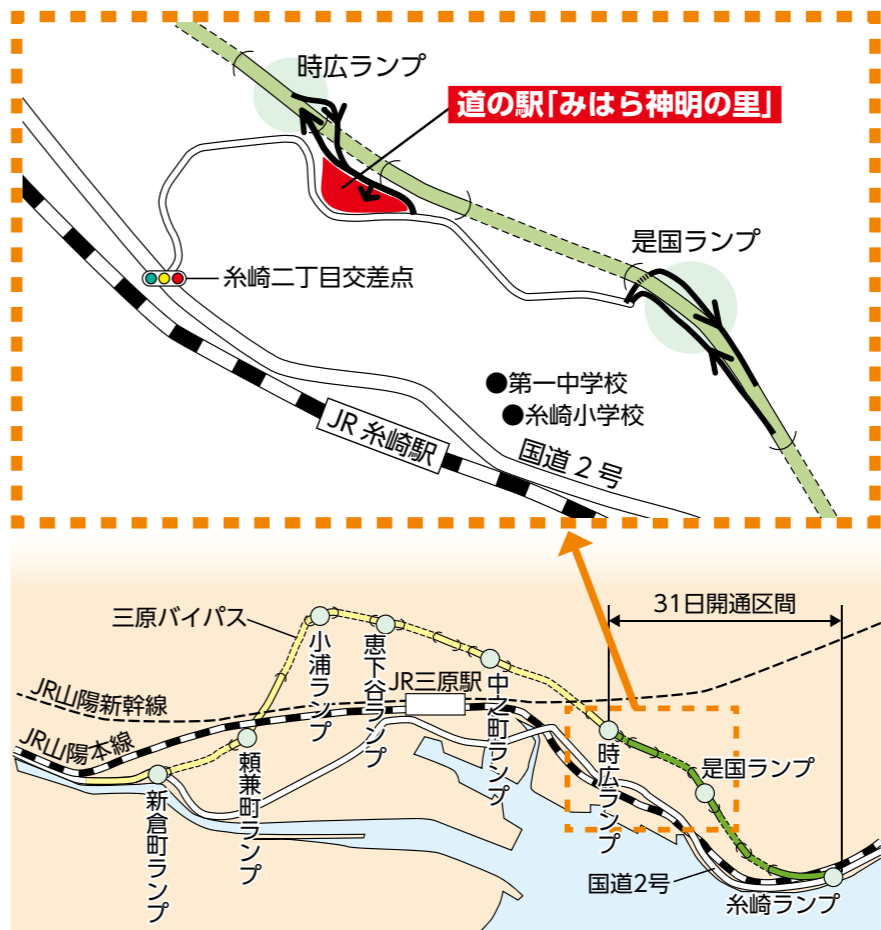
佳作 和田知久(深町)、佐藤協二(西野一丁目)、西原良典(館町二丁目)、深町博(港町一丁目)、花岡良実(城町一丁目)、門田節登(中之町一丁目)、間江伸和(尾道市)、高須浩(福山市)、山根敏武(呉市)、渡辺学(島根県)ほか20人

特別賞・みはら新魅力発見賞 小泉尚子(大阪府)、丸山恒博(宮沖五丁目)、藤原敏明(中之町二丁目)
空港大橋賞 松浦定(広島市)

観光文化課
0848-67-6014

31日(土)15時~ 三原バイパス 全線開通

今日31日(土)に、一般国道2号三原バイパスの糸崎ランプ~時広ランプ間(3km)が開通します。これにより、三原バイパス(全長9.9km)が全線開通し、約24分かかっていた糸崎~新倉間が約11分に短縮されます。
31日は、10時から開通式を行い、15時から通行できるようになります。



土木管理課
0848-67-6100

また、24日(土)には、開通を記念したウォーキングイベントを行い、道の駅「みはら神明の里」がオープンします。新たな名所の誕生に皆さん期待してください。
なお、今後は、三原バイパスと尾道バイパスをつなぐ木原道路の整備が進められます。

駅前東館跡地の活用を検討する会議が発足



活発に意見が出される検討会議

昨年12月、市議会から、市民などの意見を反映した、より具体的な基本計画を策定するよう求められました。これを受け、1月27日、駅前東館跡地の活用を検討する組織が発足しました。
この組織では、駅前東館跡地に新庁舎や市民の皆さんが利用できる施設、民間施設などを複合的に整備する上で、必要な機能などを検討することになっています。構成は、公募により選出した市民委員6人に加え、経済・地域団体の関係者や大学教授など計27人です。
同日行われた1回目の会議では、会長に県立広島大学の間野教授を選出した後、市からこれまでの経緯や、総合建設業者から受けている企画提案を説明しました。その後、意見交換が行われ、「施設を作るだけでなく、来街者をはじめ、多くの人が集まる仕組みが必要」、「食べる、飲む、楽しむといった機能を望む」、「中学生や高校生を育てるような施設がほしい」といった意見が出ました。
先月9日、2回目の会議を開催。前回出た意見を、市外から人を呼び込むための機能、市民向けの機能などの5つに分類した資料を基に、さらに検討が進められました。
委員からは、「介護・福祉・医療・健康などに特化して機能を充実させてはど

政策企画課
0848-67-6009

うか、「使いやすい、きちんと案内できる情報発信基地が必要」、「駅前のいろいろな通りに向けての回遊性が必要」、「防災拠点としての検討が必要」といった意見が出されました。
今後は、今月末までに合計5回の会議が開催され、会議で出された意見を踏まえた基本計画を市が策定します。